

国語(連体詞①)

ポ

連体詞は自立語で活用が①。

また常い② 修飾語になる。

③ 連体詞はたるのなか

いた型…たいしたとんだ(災難)

いる型…あるあらゆる去る

いの型…このその例の

ふな型…小さんおかしないろいろな

その他…我があらぬ

④ 次の一線部の連体詞が修飾している一文節「~~~~~を書こう。」

③ 大きな声で言ってくたない。

④ 明日、いろんな人がやってくる。

⑤ 妹から借りたこの本はおもしろい。

⑥ あいつはたいした男だ。

⑦ そのキレイな写真を見せて。